

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	28	事業名	ふじのくに観光ブランド創出事業費
------	----	-----	------------------

### 1 基本情報

実施日／班名	10月14日 第3班	時間	13:05～14:12
担当課名	文化観光部 観光政策課・観光振興課	事業費	85,900千円

### 2 判定結果

結 果	判定区分	県民評価者 判定内訳(人)		
		県の関与不要	3	
県の関与必要 (見直し・縮小)	県の関与必要	25	見直し・縮小	23
			現 行・拡充	2
			結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）	
	判定理由	県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき		19
		効果がない、低い、不明確なため、事業内容を見直すべき		12
		民間委託を進めるべき		11
事業の効率化を図りコストを削減すべき		8		
他の事業との関係を整理すべき		8		

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

- ・県が負担するのでなく、独立した観光協議会が利益を上げるべき。税金の使いすぎでもある。観光協会と県との関係がよく分らない。
- ・民間は負担なしで独自で頑張っている、県の役割はいらないと思う。
- ・「負担金」に対する「費用対効果」のチェックはできるのか。県は関与すべきではないが、「観光立県」の具体案を県民から集めるべき。
- ・ブランド力強化につながる内容として交通アクセスの充実が必要だと考える。静岡空港は便数が少なく使い勝手が悪い。新幹線は東京と大阪の2大都市の中間に位置し「のぞみ」が停車せず、かえて時間的に不利となっている。(2地点間の移動が時間的に差がない。)

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・観光による恩恵をうける地域は偏ると思うので、自治体ごとに負担を変えていっても良いと思う。県の支出だと、恩恵をうけにくい非観光地に不利だと感じる。
- ・観光事業は年々変化の大きいものなので、時代に即した方向性を打ち出してほしい。
- ・ブランドとは何か？使えそうな材料を手あたりしだいにツアーにしていけるのではなく、例えば静岡といえど富士山、でも山梨と競っている所もあったりするので、静岡だけでなく、富士山は何処のものか？というようなものをお客様に両県をまたいで旅行していただいて、勝負をするような企画もおもしろいと思う。

- ・友達が来静した時、富士山が見えないと言います。余りにマンションが建ち並び、少し位高いところでも見えません。建物の規制はできないでしょうか。古い物をもっと観光に生かしていったらいいと思う。
- ・連携は大切だが、県としての役割をいま一度検討してはどうか？空港利用について、もっと効率的に利用すべきだと思います。
- ・今は自家用車で動く人が非常に多いので、駐車場の確保についても併せて検討すべきだと思います。
- ・本県は文化行政の後進県だと常々思っている。文化・芸術は感性・人格形成を育てる為には欠くことの出来ないものであると思う。しかし、結果が見えず長い年月を要し、力が入らないのもわかる。これには地道な努力と忍耐が必要だ。観光に文化を深く関わらせることが出来れば、一石二鳥ではないか。たとえば県立美術館「ふじのくに」をうたえど富士山は見えぬ。又、長い遊歩道(プロムナード)は何度も通えばただ見てすぎるだけ。この場所に富士山の見える場所を作ったり、フランスの「モンマルトルの丘」のように手はじめに芸術関係の学生、ゆくゆくはだれにでも商売(発表)させ、世界的芸術の観光地と発展させる夢は描けないか？県条例や道路交通法が絡むであろうが、法律は人が作ったもの。時代に合わせ発展的なものに変えるのも人。
- ・県の方針がいまいち分かりづらかった。観光の活性化は大切だと思いますが、自分はネットや旅行雑誌しか使わず、年代にもよるかもしれませんが、県にそこまで必要かな？と思いました。静岡でゴルフはどうなのでしょう？ゴルフ以外の物で売り出した方が良くと思いました。
- ・静岡県大型観光キャンペーン協議会に 6 割の負担金を納めることになっているが、検討する必要があるのでは。
- ・インターネット「ホームページ」の広い活用によって県事業の PR を進めた方が良い。観光は出来たら観光協会中心に(民間)行うべき。
- ・ブランドの確立、情報発信に力を入れる。産学協同のイベントやキャンペーンを行ってみれば、新しい発見が見つかるのでは。
- ・観光客が増えることは県全体の発展や魅力あるまちづくりにつながる。県と観光業界と区別するのではなく、互いが同等の目標をもって事業を起こしていくのが大切ではないか。
- ・市町の連携の為に、県の事業が必要だと思いますが、県は方向付けや市町の調整に注力すべきと考えます。市町だけでなく、JR や航空会社との連携も必要かと思えます。また、会議場が少ないと思えますので、市町と協力し、他県からの誘致を望みます。アカデミックなインパクトも考えてください。
- ・県、観光協会と市町村との連携を強めて、大いに静岡県の観光を誘致してほしい。
- ・県主体で行うのではなく、市町広域中心で行うほうがよいと思う(東部と西部では観光圏、文化圏もかなり異なると思うので)。県の関与が不要とまではいわないが、前面に出るのではなく後方支援中心でいいと思う。
- ・東部、特に伊豆半島東側在住者は静岡空港に対して全くメリットを感じていないので、必要性を感じない。同様に西部の方は、伊豆ジオパークについて何も思わないと思う。ふじのくにと一括りにしないで、もう少し小さい単位で観光行政をしたほうがよいと感じる(旅行に出たときどこから来たかと尋ねられて、静岡から来たというより熱海から来たと言った方が相手の印象が変わった経験がある)。
- ・必要な事業であると思うが、県の立ち位置、役割を明確に。
- ・キャンペーンよりも、観光関係のホームページを充実させたほうが効果は大きいような気がする。旅行に行く時に決め手になるのは今まで得た情報(テレビや雑誌)によるところが大きいのでは？やり方が適切ではなさそう。
- ・委託、負担の定義の明確化が必要。考え方が実務上、ブレて(不明確)いないか？その点の見直しが必要ではないか？上記が不明確なため、県の立場・役割(何をどうするのか？)が不明確である。
- ・県西部の観光資源が少なく、県東部に集中するので、県全体としてアンバランス。南アルプス方面の山岳地域の観光資源としての有効利用はできないか？

- ・観光はリピーターがあることで安定すると思います。リピーターを増やすことについては、ノウハウが必要と思われるので、民間(プロ)に委託した方が良い。
- ・空港の利用率向上の施策をお願いします。(個人的には静岡空港は利便性(路線少)が悪く不要と思っています。)
- ・必要な事業だと思うが、県の役割、業務が明確でないように思う。負担金としての支出としては大きすぎると思う。
- ・今後大いに期待できる分野であると思いますので、事業番号28、29、30の事業は関心を持っている。
- ・キャンペーンなどは、前年度もやったから今年度も予算をとってやろうというような気がしないでもない。協議会なりがこういうことをやりたいが、県の方はどうかといった承認を得るような制度にしてはどうかと思う。

**【県の関与の必要（現行・拡充）】**

- ・静岡空港に安くチケットを販売している航空会社を誘致してもっと活性化すべき(例 茨城県の空港は海外の格安航空会社が乗り入れて賑わっている)。